

かわら版

発行 郷土史研究会 郷土資料館 平成17年7月

アイヌの子で放談会

郷土史研究会は、六月二日午後六時から「十代の里」のアイヌの子(復元住居)で十七年度の総会のあと、昔前の歴史にまつわる放談会を開催した。

今回は、留萌市の郷土史研究家高橋明雄氏を交えて行われた。



この放談会は昔前町の歴史や生活の様子など会員相互が自由に語り合い、郷土愛を再確認するもので、昭和におけるニシン漁の風景やニシンの加工方法など大いに話に花が咲いた。

おやつ代わりとなっていた「た」のご思い出が紹介され、会員たちはその遠い生活に思いを寄せ共感を覚えた。なほ郷土史研究会の十七年度の事業計画は、歴史にまつわる紙芝居の作成や学社融合事業への講師派遣、かわら版の発行などを決めた。役員は留任となった。同会は、郷土の歴史に思いのある方の入会を望んでおります。

函館の関尚彦さん「ふるさと」再来訪

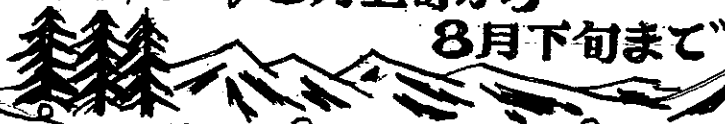
昔親戚が下町で旅館を営んでいたという関係で、昨年、元中学校長の関尚彦さん(左)が、大正十三年の下町大火前や、大正末期から昭和初期にかけての卒業記念、消防団員の様子など歴史的に貴重な写真や町に提供されました。関さんは昨年七月二十七日来町されましたが今年もご夫人と姪ごさんの三人で関家の「ふる里」を訪問されました。郷土史研究会の鎌田信夫さんと町社会教育



北の動物展

北に棲む珍しい動物(はくせい)の特別展を開催します。哺乳動物のナキウサギ(予定)やエゾオオカミ(予定)など、約20点を展示しますので、多数のご来館をお待ちしております。

期間は⇒8月上旬から8月下旬まで



- ① 飲料水はありません
 - ② ゴミは必ず持ち帰ります
 - ③ かなんかの方まで見送ります
- 昔前 → 古丹別 → 九重
- 三毛別の熊惨事復元地へは昔前から約二十六キロあります。

熊惨事復元地

「ごあんない」
「ふる里」怖い
何かが出そう
見られていらいやうな
異様な気配が

高年齢者事業団が住居修復、お見事

昨年九月の台風十八号で被害を受けた「古代の里」の縄文・擦文時代の竪穴住居とアイヌの子(いづれも復元)を昔前町高年齢者事業団(鎌田信夫会長)の方々十三人が三日間かけて見事に修復させた。作業にたづさわった中に、かやぶぎ技術習得した人かいたのが幸い、町や関係者は深く感謝している。

復元当時は一棟約一千万円。今ではカヤなど入手に困難を極めるといわれる。「古代の里」では以前子供たちがボールを住居にぶつけて遊んでいたが、最近はなくなくなった。資料館ではホッとしている。

※資料館を訪れた方は裏側の「古代の里」にも足を運んでみてください。



また、関さんは北海道内の絵馬を中心に郷土史の研究をされており、昔前神社の絵馬(四点、一八六四年筆)の史実が解明されることを期待しております。遠路、大変ご苦勞さまでした。

昔前の昔を資料館で語りつくす！
これから夏休みやお盆をむかえますが、知人や友人で資料館へ行き昔前の昔を語りましょう。



幻の北海太郎

(大き日本一)

雄、推定18歳
体長約2m
体重500kg
(弟の溪谷の次郎もいるよ)

巨大トド

(はくせい)

体重約1.5t
体長約2.5m
1989年夏
力登海岸で捕獲
海のギャングともいふ

オサガメ

(はくせい)

長さ175cm
巾80cm
重さ325kg
S48年7月2日
上平沖で捕獲
～大の男を乗せて歩いたといふ

トビガリゾウ

(骨格復元)

8500万年前
全長6mの骨格復元
H9年7月27日
霧立で化石発見

休館日なしの期間=7月25日 → 8月15日